



も り み ん だ よ り

第78号

令和7年8月5日発行

広島県 安芸太田町議会



安芸太田町議会
ホームページ



日本一アツイ文化祭

加計高祭にお邪魔しました！

6月28日、加計は全国で最も高い36.4度の気温
となりました。加計高祭では気温に負けない「ア
ツイ」パフォーマンスが繰り広げられました！

写真：書道有志きみお



6月定例会で決まったこと!

6月定例会を終えて



安芸太田町議会議長

中本 正廣

議会議員一般選挙後、初めての定例会でした。今期定例会におきましては、新たに議員になられた2人の議員を含め、8人の議員から一般質問の通告がされ、6月9日と10日の2日間で一般質問が行われました。

議案のほうでは、報告議案が2件、条例の制定及び、改正議案が3件、令和7年度補正予算が4件、その他の議案が4件の合計13件を審議し、すべて原案のとおり可決されました。

また、病院事業においては、過疎高齢化が進む中、外来・入院患者の減少に伴い経営の厳しさが増しているところであり、これからの病院事業のあり方を調査していくため、6月5日に病院事業調査特別委員会を設置いたしました。

そのほか、6月5日には各常任委員会が開催され、主に陳情の審査が行なわれました。また、11日には地方創生調査特別委員会をはじめ、4つの特別委員会を開催しました。

令和7年 第3回定例会

(6月5日~12日 8日間)

議案番号	件名	賛	否	結果
報告第1号	令和6年度安芸太田町一般会計繰越明許費繰越計算書について	—	—	—
報告第2号	令和6年度安芸太田町一般会計事故繰越し繰越計算書について	—	—	—
議案第35号	安芸太田町過疎地域持続的発展計画の変更について	全会一致		可決
議案第36号	安芸太田町上下水道料金審議会条例の制定について	//		//
議案第37号	安芸太田町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	//		//
議案第38号	安芸太田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び安芸太田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	//		//
議案第39号	財産の取得について (ホイールローダ除雪車)	//		//
議案第40号	財産の取得について (安芸太田町立小中学校情報機器整備)	//		//
議案第41号	工事請負契約の変更について	//		//
議案第42号	令和7年度安芸太田町一般会計補正予算 (第1号)	//		//
議案第43号	令和7年度安芸太田町国民健康保険事業特別会計補正予算 (第1号)	//		//
議案第44号	令和7年度安芸太田町後期高齢者医療事業特別会計補正予算 (第1号)	//		//
議案第45号	令和7年度安芸太田町簡易水道事業会計補正予算 (第1号)	//		//
陳情第7号	地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求める陳情書	//		採択

6月定例会・臨時会で決まったこと!

審議された主な議案

一般会計補正予算(第1号)

●議案第42号

■一般会計・歳入歳出

歳入歳出に124,515千円を増額し、
歳入歳出予算総額を8,974,515千
円とする。【可決】

■歳入の主なもの

- ・ 国庫補助金 56,088千円
- ・ 起債 50,500千円
- ・ 一般財源 16,802千円

■歳出の主なもの

- ・ 定額減税補足給付金給付事業 6,878千円
- ・ 町道整備事業 55,000千円
- ・ 橋梁施設改良事業 24,065千円
- ・ 河川改良事業 11,344千円
- ・ 派遣職員負担金 11,971千円
- ・ 企業誘致推進事業 4,226千円

●議案第36号

■安芸太田町上下水道料金審議会条例の制定について

・ 上下水道料金の改定についての審議機関

【委員構成 10人以内】

学識経験者・民生委員・児童委員協議会
女性連合会・自治振興会連絡協議会
商工会・議会議員2人

●議案第39号

■財産の取得について

(ホイールローダ除雪機)

- ・ 除雪箇所 二郷地区
- ・ 取得価格 17,710千円
- ・ 契約の方法 一般競争入札
- ・ 契約の相手方 株式会社 イトー

安佐町飯室



●議案第40号

■財産の取得について

(安芸太田町立小中学校情報機器整備事業による児童生徒用コンピュータ)

- ・ 契約の方法 随意契約(公募型プロポーザル)
- ・ 取得金額 27,312千円
- ・ 契約の相手方 株式会社 大塚商会

※広島県による県内自治体共同調達事業

令和7年 第4回臨時会

(6月30日 1日間)

議案番号	件名	賛	否	結果
議案第46号	損害賠償の額の決定及び和解について	全会一致		可決
議案第47号	財産の無償譲渡について	〃		〃
議案第48号	令和7年度安芸太田町一般会計補正予算(第2号)	〃		〃





8人の議員が質問・提言

一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。1人当たりの持ち時間は、答弁を含めて60分です。

6月定例会では、6月9日、10日の2日間8人の議員が質問を行いました。

番号	議員名	質問内容（抜粋）
1	宮本千春	<ul style="list-style-type: none"> ●移住定住対策について ●地域の保全について ほか
2	佐々木道則	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設管理計画及び管理について ●公益通報について ほか
3	小島俊二	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯カメラ設置補助金の創設について ●安野出張所の郵便局委託の実証事業の今後について ほか
4	笠井清孝	<ul style="list-style-type: none"> ●地域おこし協力隊について ●移住、関係人口増加について
5	末田健治	<ul style="list-style-type: none"> ●国・県道の管理について ●安芸太田町長期総合計画（ビジョン）について ほか
6	大江厚子	<ul style="list-style-type: none"> ●生活困窮者・家庭の支援について ●本町におけるヘルパー（訪問介護員）の状況・課題とその対策について ほか
7	田島清	<ul style="list-style-type: none"> ●地域防災計画について ●平和行政の推進について
8	大江昭典	<ul style="list-style-type: none"> ●防災について ●森のようちえん施策について ほか



宮本 千春 議員

問 集落支援員の活用方法に工夫を



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

地域振興課長

限界集落での事業の効果検証を踏まえ、役割や配置等を検討

問 集落協定は、次世代の担い手確保が困難となるなか、ネットワーク化など持続可能な体制にしていかなければならないが、どう取り組んでいくか。

答 産業観光課長

町は各集落協定の活動をサポートしていきませんが、隣の協定とは一緒になるのは難しいという意見も聞かれます。地域の活動を維持していくためにネットワーク化という選択肢をまずは地域の方々に知っていただき、機運を高めていけたらと考えています。



地域の保全活動
(資源ごみ回収 修道振興協議会)

問 集落支援員の活用など、地域の人手確保策は。

答 地域協働課長

町は今年から、主に限界集落を対象とした集落支援の取り組みを始めており、集落支援員には、そ

の取組への側面支援を新たな業務としてお願いしているところです。その事業の効果検証も行いながら集落支援員の役割や配置等についても検討してまいります。



移住定住
(令和5年 夫婦で坪野へ移住)

問 耕作放棄地を増やさないために電気柵設置補助の対象を拡充しては。

答 産業観光課長

当事業は農業振興・産業振興の一環であるため、農作物の出荷を目的とした営農活動が確認できることを要件としています。

ただし、電気柵は単一農家だけを対象とするよりも、集落全体を困った方がより効果が高いことから、自治会単位での申込みであれば、補助率も高く設定しているところであり、この場合は販売農家以外の方々も対象となります。

宮本千春議員

近々、町内にRMOの設立されるという話をきいている。こういった団体と連携をすればネットワーク化の核になるのではないかと。町には初期の仕組み作りをしっかり汗をかいていただきたい。



地域の保全活動 (坪野地域協力会)

問 公共施設等管理計画の進捗状況は



佐々木道則 議員



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

問 安芸太田町公共施設等総合管理計画を円滑に推進する上で課題は。

答 町長

20年かけて30%以上、延べ床面積を減らしていくというこの目標、大変は高いハードルだということも認識しています。

計画期間は令和17年までの計画で、本年度中に個別施設計画の取りまとめを行います。

問 公共施設等総合管理計画の推進体制は。

答 総務課長

町長をトップとして副町長各課長や支所長等で構成する公共施設等マネジメント推進会議（仮称）というのを設置し、各部署を超えて、必要な調整を行うこととしております。

この推進会議は、本定例会終了後、早急に立ち上げる予定で、施設の管理計画案、施設の方向案等は、この推進会議において必要な調整を行い、取組を進めます。



町長

公共施設等管理計画の取りまとめは令和7年度末を予定

問 町民との情報共有に向けて取組実績の公表は。

答 総務課長

現在のところは、総合管理計画のPDCAサイクルはできておりませんので、今後、具体的な取組を進める中で公表します。

問 公共施設等総合管理計画を推進するための、財源措置は。

答 総務課長

町の財政全体を見据えながら、公共施設等適正管理推進債や過疎対策事業債などの起債の活用等も視野に入れ、計画的に進めていきたいと考えております。

問 本町における公益通報者保護者の現状と対応は。

答 町長

要綱をつくり対応を進めており、施行にあたっては全職員に対し周知も行っているところです。これまで本町ではこれに基づく通報が1件あり、通報に基づく調査及び是正を行っております。

公益通報を理由とする不利益取扱い等がないよう、本町としても法に沿った取扱いを進めていきたいと思っております。

問 公益通報保護法の内部外部へ制度の周知方法は。

答 総務課長

内部外部の要綱を策定した時点で、役場内の職員に対しては、掲示板システムにより周知を行っております。

その他、随意契約について質問しております。



小原住宅



旧殿賀小学校 講堂



小島 俊二 議員

問

町として安野出張所の廃止を
考えているのか



こちらのQRコード
から中継映像もご覧
いただけます。

町長

現時点で、安野出張所を廃止
することは考えていない

安野出張所の存続につ
いて



問

安野出張所の維持コストが、
いくら掛かるのかという観点か
ら考え、安野・修道地域を捨て
ることがないように、行政運営
をして頂きたい。

町長として、安野出張所の存
続について考えを問う。

答

町長

現時点で安野出張所を直ちに廃
止するということは考えていま
せん。地域の方々から役場の職員が
いてもらえるのは心強いという話
もあったと思います。まさにその
とおりです。しかし、行政サービ
スをできるだけ維持するため、様
々な新しい工夫というのでも常に考
えていく必要があることも理解し
て頂きたいと思っています。

防犯カメラ設置補助金
の創設について

問

現在、町設置の防犯カメラ
は、6台設置しているが、今後、
全町への設置予定はあるか。町
として、今後、町営の防犯カメ
ラの設置が見込めないとすれば、
防犯カメラの設置補助金制度の
創設について見解を問う。

答

総務課長

今後、主要道路を中心に、少
ずつ防犯カメラの設置を増やして
いく可能性はあると考えています。

町としては、設置費の一部を自
治会に補助することで、防犯カメ
ラが持続的に運用ができるかどう
か十分に検討し、制度創設を検討
する必要があると考えています。



町内に設置の防犯カメラ

中学校のクラブ活動に
ついて

問

中学校クラブ活動予算の全
体概要と、予算編成時に各学校
の要望等は調査するのだろうか。

答

教育次長

部活動に関する経費は、各校に
108万円の予算を計上していま
す。実質的には、県大会等の遠征
費などが多く占める状況です。

問

遠征費の使用内容は。

答

教育課長

学校の特色に応じて練習試合、
対外試合、対外行事等でも活用で
きるようにしております。



学校クラブ活動

問

地域おこし協力隊の低い定住率について問う



笠井 清孝 議員



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

町長

OB・OGのサポート体制を含め、制度を変えていく

問 安芸太田町の地域おこし協力隊のこれまでの人数と定住率について問う。

答 地域協働課長

受入れ41名、そのうち男性が31名、女性が10名です。年齢ですが、着任当時20代が16名、30代が15名、40代が5名、50代が3名、60代が2名です。

着任中の隊員の18歳以下の子どもさんが、21名、着任後出生数は11名です。

定住者の人数ですが、退任者が35名、そのうちの16名が定住をされており、率にして46%という状況です。

(全国定住率 68・8% 広島県定住率 75%)



問 安芸太田町の定住率を上げることが人口増にもつながるのでは。その為にも、安芸太田町地域おこし協力隊のOB・OGをアドバイザーとして活用することは検討できないか。

答 町長

地域おこし協力隊のOB・OGがサポートに回っていただくような仕組みも含めて、またいろいろとアドバイスも頂きながら、制度を変えていきたいと思っております。

問 関係人口を増やす為に、民間の事業者に地域おこし協力隊を派遣するなどの対応はできないか。

答 町長

民間団体との連携について、前向きに考えていきたいと思っております。

また、地域おこし協力隊を出してほしいということがあれば、また個別に検討を進めさせていただければと思っております。





末田 健治 議員

問 安芸太田町総合ビジョンを問う



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

町長

人口維持に向け移住対策等柱に取り組む

国道・県道の管理について

問 県道弁財天加計線、山崎から穴袋間の道路管理についてを問う。

答 建設課長

権限移譲事務として町が管理を行う場合があります、通行の安全を確保するため県とも協議し必要な対応を行います。

問 国道191号追崎から久地間の山側の枝葉の除去についてを問う。

答 建設課長

この区間の管理は広島市管理です。樹木除去について情報提供していきます。

問 県道澄合豊平線、出口・下田野原間の改良計画について県より五反田側に付け替える提案があるが経緯を問う。

答 建設課長

道路管理者の広島県が施工性及び経済性を総合的に判断した結果、対岸の五反田地区へバイパスでの道路改良を提案されたものです。



問 国道433号安水橋の付替えについて12月議会では広島県へ道路整備計画に箇所付けしてもらおう手続を進めると答弁があった。その後の進捗についてを問う。

答 建設課長

現在広島県道路整備計画に上げるべく広島県や関係自治体と協議を行っています。



問 安芸太田町第3次長期総合計画（ビジョン）について「天の時・地の利・人の和」を述べられた理由を問う。

答 町長

昔から事業を成功に導くために押さえるべき重要な要素として認識されていた事から、町づくりにおいてもこの法則に当てはまると認識しており、三つの要素を総合的にとらえ取り組むことが重要と考えています。

問 第3次総合計画の戦略について問う。

答 町長

「太田川と共に、暮らし、学び、未来に向けて一人一人が活躍するまち」を基本に、戦略として三つの重点方針①人口減少の抑制、②人づくりの推進、③DXの推進を掲げている。具体的には12の施策を継続して取り組んでいきます。

問 太田川清流復活では、シンポジウムの開催で町内外へのアピールが必要と考えるがいかがか。

答 町長

シンポジウムの開催では、何をアピールするかスタンスを明確にし、活動の幅を広げる意味で検討したいと思っています。

問 親水性確保の取り組みは並行して行うべきと考えるがいかがか。

答 町長

河川利用に関する環境整備も並行して取組みます。温井ダムにおける湖面利用、親水性を確保した護岸整備等、河川管理者の国土交通省太田川河川事務所や温井ダム管理所とも引き続き計画の検討を行ってまいります。

問 訪問介護事業が抱える問題への対応は



大江 厚子 議員



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

健康福祉課長

国からの支援を検討していく

問 訪問介護事業の必要性和実態について問う。

答 健康福祉課長

入所施設やショートステイ等を利用できない方にとって、訪問介護は必要なサービスです。本町には訪問介護事業所はなく、隣町の事業所がサテライト方式で対応していますが、需要に対して供給が追いついていないのが現状です。



問 ①訪問介護事業者の経営危機、②移動時間が報酬に反映されないため、中山間地ではサービスの継続が困難、③介護職の基本給は全産業平均と比べてかなりの差があり人材確保が困難、これら問題にどう対応していくのか。

答 町長

訪問介護の分野が弱いという指

摘はそのとおりです。国からの支援、経営の支援も含めて検討していきたいと考えます。

「生活困窮者支援について」

問 生活保護利用者、生活困窮者自立支援制度相談者から見えてくる、生活困窮者の抱える課題について問う。

答 健康福祉課長

経済的困窮・就労・住居・心身の健康・社会的孤立、さらに子どもがいる場合はその育成環境など課題は極めて多岐に及んでいます。重要なのは、多くの場合問題が複雑に絡み合っている点です。

問 対応はどうか。

答 健康福祉課長

社協や当課内関係部署と情報連携を行い、包括的な支援体制を構築していきます。

問 国は、2013年～15年

にかけて生活扶助費を引き下げた。また当時は激しい生活保護バッシングが吹き荒れ、今も続いている。これらは生存権を否定し、社会の根幹を揺るがす深刻な問題と考えるがいかがか。

答 町長
誰もが最低限の生活を維持できることは憲法に保障されています。様々な制度を適切に運用していきます。

「戦没者追悼・平和祈念式典の式辞について」

問 本年は戦後80年の年だ。アジア諸国の人々2000万人を死に追いやり、国内では300万人の犠牲を出し、広島長崎への原爆投下を帰結として終戦を迎えた。戦没者追悼平和祈念式典での町長の式辞について問う。

答 町長

世界では争いの緊張が続き、また、本年は被爆から80年の節目で大きな意味合いがある年です。どのような式辞をまとめるのかこれから考えていきます。



戦没者追悼・平和祈念式典
2024年8月15日



田島 清 議員

問

震災、水害、山林火災への対応する地域防災の体制は



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

総務課長

防災タイムラインの作成の推進に取り組んでいる

問

33年前の小学校教材「わたしたちのまち」から地域の防災教育資料として江河内川の土石流災害など大災害について、今年度、広報誌安芸太田4月号と9月号で黒い雨にかかる申請等についての周知を行なわれていた。被爆者、被爆2世の方(19名)の中には、健康不安に苦しんでいらっしゃる方がいると思う。

広島県が行っている被爆2世検診の制度があり、一般的な健康診断の項目を満たしている検診を無料で受けていただくことができる。関係者の方々の気持ちに寄り添い、提供できる支援、また、情報提供を可能な限り、行っていきたい。

教材年表の1992年以降の被災状況を含めた防災教育について問う。

答

総務課長

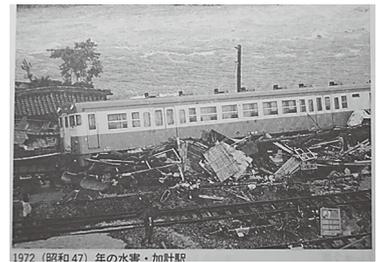
1988年の豪雨災害以降死者をとともなう災害は発生していませんが、数年に一度は災害を経験しています。

自治会単位の防災啓発、防災タイムラインの作成を推進している中で、61の自治振興会中、53で提案済みです。

「温井ダムで県内有数のアクティビティ体験地に！」



(災害時) 1988年災害・江河内地区 (復旧後)



1972(昭和47)年の水害・加計駅

問

温井ダムの役割(洪水を防ぐ、豊かな水を守る、水道用水とする、発電をする)について再認識。上流、下流域へ情報発信し共有するなかで再評価し活用すべきと考えるがいかがか。

答

町長

民間利活用による社会実験を実施、にぎわい創出が図られつつあ

「非核平和宣言と自治体の連携を」

問

合併後20年間に非核平和宣言が活かされてきたか。

答

総務課長

令和5年の平和祈念式典から、子どもたちの平和学習の取り組みを映像発表するなど、未来につながる活動を続けていきたいと考えています。新年度においては、広島市との連携により平和体験プログラムへの参加を盛り込んでいます。

教育次長

加計高校は県立ですが、「加計高校を育てる会」を通じての連携を模索中です。

今後、検討を進めていきます。

ります。温井ダムの放流を地域振興に活かすため、中国地方整備局・広島県・広島市・中国電力などに要望を行っていきたくと考えています。

今後、温井ダムアウトドアフィールド(一般社団法人)が周辺業者により設立予定です。

これまで以上に温井地区をアクティビティが体験できる県内有数の地域に成長するよう、支えていきます。

問

各種災害時、自助・共助・公助 に対する町の考え方を問う



大江 昭典 議員

総務課長

発災直後は自助、そして公助が届くまでは、
共助・地域のコミュニティの力に頼るしか
ない部分が大きくある



こちらのQRコード
から中継映像もご覧
いただけます。

問
自助・共助に対する町の事
前支援策は。

答
総務課長

地域だけでは、なかなか対策が
十分に行われにくい部分あると思
いますので、町が支援をしていく
体制をとる必要があると考えてお
ります。

地域での防災への関心を高める
啓発活動を、今後とも根強く続け
る中で、自治会等が自主的に取り
組む防災啓発活動や訓練、防災に
関する資機材を調達する際に、補
助金を交付する防災体制構築支援
事業費補助金の活用についても、
あわせて周知したいと考えており
ます。



段ボールベッドを組立てる様子



森のようちえん（イメージ）



備蓄品 発電機
（筒賀三郷）



備蓄品 保存水
（戸河内上本郷）

問
「コミュニティスクールが目
指す目標は。」

答
教育課長

教育振興基本計画では、政策目
標の一つとして、学校園所、家庭
地域の連携・協働の推進による地
域の教育力の向上を示しており、
目標実現のためには、コミュニテ
ィスクールと地域学校協働活動の
一体的推進が重要であると考えて
います。今年度は、新たに設置し
た学校園所支援ボランティア制度
も活用しながら、学校や地域の求
めるニーズ等に対して、具体的
な協議を行いながら、柔軟かつ円滑
に対応できるコミュニティスクー
ルとすることが目標です。

問
森のようちえん構想の推進
状況は。

答
教育次長

森のようちえん推進担当を新た
に設置しまして、重点的な推進を
図っており、令和7年度中に1施
設、令和8年度には、全園所の広
島自然保育の認証取得を目標とし
ています。



各特別委員会について



病院事業調査特別委員会を設置

●これからの病院事業のあり方を調査していくため、特別委員会を設置して詳細調査するもの。

●議員全員で委員会構成します。

委員長 津田 宏 議員
副委員長 大江昭典 議員

■委員会開催 6月11日

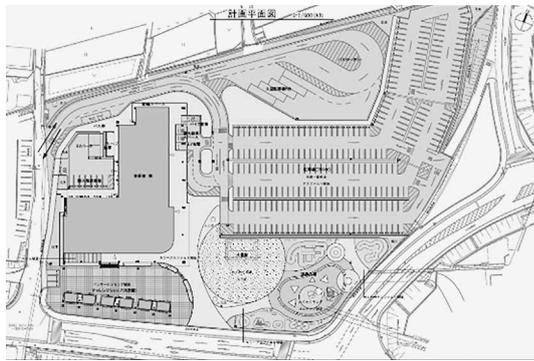
・議題
病院事業の今後の計画について

地方創生調査特別委員会

■委員会開催 6月11日

・議題
道の駅再整備事業について

●5月15日・18日新道の駅説明会開催状況の詳細内容について



子ども子育て・若者支援対策特別委員会

■委員会開催 6月11日

・議題
令和7年度 子ども子育て・若者支援対策特別委員会活動計画について

議会改革調査特別委員会

■委員会開催 6月11日

・議題
委員会（予算・決算委員会）のインターネット中継の実施について協議
令和7年度取組み事項について

広報・広聴調査特別委員会

■委員会開催 6月17日

・議題
もりみんだより第78号編集作業
令和7年度議会報告会の開催計画について
令和7年度広報・広聴調査特別委員会の視察研修について



議会広報・広聴特別委員会 開催状況



子ども子育て・若者支援対策特別委員会 開催状況

総務常任委員会

■委員会開催 6月6日

陳情審査

「陳情第7号」

「地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求める陳情書」

陳情者

安芸太田町職員労働組合

執行委員長 佐々木 一

■委員会開催 5月23日

所管事務調査

総務常任委員会所管の病院事業・総務課外6課1室の今年度の課題及び目標等をヒアリングして、本年度の重点事務調査及び現地調査の基礎資料とする。



総務常任委員会 開催状況

産業建設常任委員会

■委員会開催 6月5日・6月11日

陳情審査

「陳情第13号」

「光石自治会水道施設の保全に関する陳情書」

陳情者

光石上水道組合・光石自治会

会長 市田 博

現地視察



光石自治会水道施設の視察風景



光石自治会水道施設

お知らせ

全国町村議会議長会

第38代会長に就任

◆令和7年4月23日

広島県田議会議長会の会長に再任

◆令和7年7月16日

全国町村議会議長会の会長に就任



中本正廣 議長

議会改革の取り組み！

「議会議場DX化へ」

★令和6年度12月定例議会から議員・執行部ともにタブレット端末使用中！

・令和6年12月〜本格運用

(完全ペーパーレス化へ)

※運用開始から、515、231枚の紙資源が削減できました。



編集後記

今回 もりみんだよりの表紙を6月28日と29日の2日間、開催された加計高祭2025と決めました。

初日は加計が最高気温36・4度を記録し、全国で最も高い気温となった中、生徒皆さんの若さ・情熱あふれる軽音部のバンド演奏や書道パフォーマンスなど色々な発表に感動しました。

二日目は初めて射撃体験させていただき、また生徒の皆さんの創意工夫による作品に楽しませていただきました。

加計高校は、私にとって母校であり、五十数年前の文化祭とは催しの内容は変わっても、生徒の皆さんの「楽しい思い出を作りたい」「来てくれた人に楽しんでもらいたい」そんな熱い思いは変わっていないことに嬉しさを感じました。

全国一の暑さを誇る安芸太田町、のどが渴く前の水分・塩の補給と、併せて絶対「無理しない」ことで「熱中症」対策をお願いいたします。(宮本 千春)

◆広報・広聴調査特別委員会

委員長 影井伊久美

副委員長 宮本 千春

委員 笠井 清孝

委員 大江 昭典

委員 小島 俊一